

大津企業景況調査報告書

(第59回)

平成24年10月～12月期 実績

平成25年 1月～ 3月期 見通し

大津商工会議所

大津企業景況調査について

(平成24年10月～12月期)

1. 調査方法

大津商工会議所会員企業 100 社に F A X 方式による調査

2. 調査企業

産 業 別	調査対象企業数	有効回答企業数	回 収 率
建 設 業	20社	11社	55.0%
製 造 業	10社	8社	80.0%
卸 売 業	10社	9社	90.0%
小 売 業	30社	25社	83.3%
サービス業	30社	23社	76.6%
合 計	100社	76社	76.0%

3. 調査期間

調査対象期間は平成24年10月～12月とし、調査時点は平成24年11月15日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指数として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」の DI 指数は、3 ヶ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

景況感は更に悪化

平成 24 年 10 月～12 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

全体

景況は、全体では業況判断 DI（前年同期比）が 1 年 6 ヶ月間▲30～▲35 で停滞していたが、今四半期は▲40 になるなど更に悪化している。特に卸売業では大幅悪化が続いており、日中関係の悪化に伴う観光客の減少の影響等でサービス業も今四半期の悪化幅が大きい。

先行きは、業況判断 DI が▲32 に改善するも業種により見通しがまだら模様になっている。今四半期に悪化した卸売業、サービス業は改善を見込んでいるが、建設業、小売業はやや悪化すると見込んでいる。製造業は横ばいを見込んでいる。なお、本調査時点からして、円高がやや修正している足元の状況等は反映していないとみられる。

□ 業況判断 DI（前年同期比）は更に悪化。特に卸売業、サービス業が悪化

「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、1 年 6 ヶ月間▲30～▲35 で停滞していたが今四半期 6 ポイント悪化して▲40 となるなど更に悪化している。特に卸売業では▲60 以下の大幅悪化が続いており、日中関係の悪化に伴う観光客の減少の影響等でサービス業も今四半期 13 ポイント悪化し▲39 となった。

□ 売上 DI（前年同期比）はやや悪化。ほぼ全ての業種で大幅悪化

「前年同期比でみた売上 DI(全体)」(「増加」－「減少」)は、前四半期の▲33 から今四半期▲45 と大幅に悪化した。業種別にみると、卸売業が前四半期の大幅悪化からやや改善した以外、全ての業種で大幅に悪化した。

□ 採算 DI（前年同期比）はやや改善。製造業、卸売業以外は大幅悪化

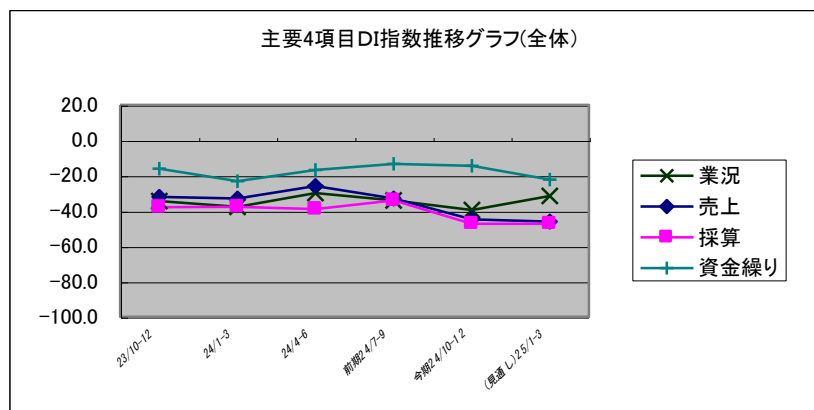
「前年同期比でみた採算(経常利益) DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期▲34 から今四半期▲47 で悪化した。業種別にみると、製造業が好転し、卸売業がやや改善したが、その他の業種では大幅に悪化した。

□ 資金繰り DI（3 ヶ月前比）はやや悪化。業種によってバラツキ

「3 ヶ月前比でみた資金繰り DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期の▲13 から今四半期▲15 とやや悪化した。業種別にみると、建設業、製造業およびサービス業で改善し、卸・小売業で悪化した。

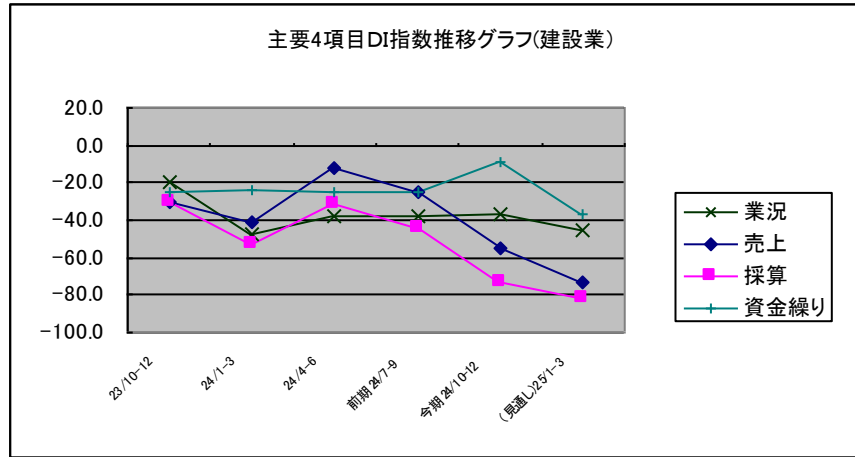
□ 従業員 DI（前年同期比）はやや人員不足。ただし製造業はやや人員過剰

「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」(「不足」－「過剰」)は、前四半期の▲2 が今期+4 とまた人員不足になった。業種別にみると、製造業が人員過剰、卸売業が適正人員、その他の業種は人員不足になっている。



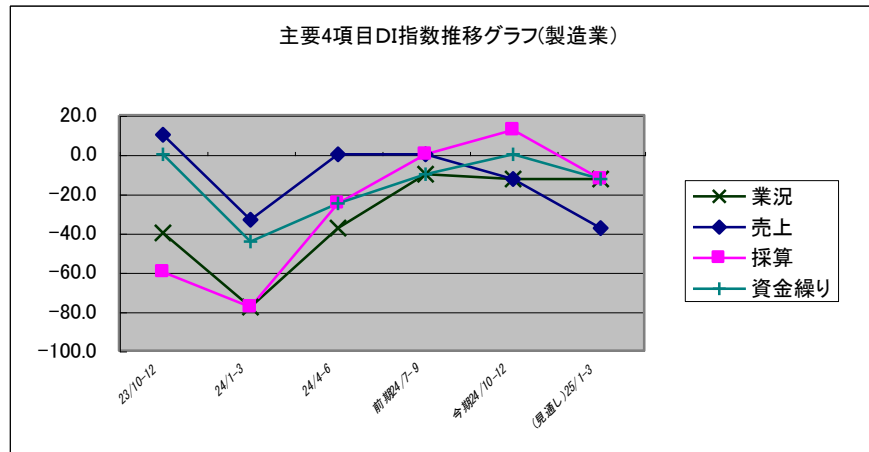
建設業

DI 指数をみると、「業況」は今四半期も▲36 とほぼ横ばいである。個別指標をみると「売上」が前四半期の▲25 から今四半期▲55 に悪化した。 「採算水準」は前四半期の▲44 から今四半期▲18 と改善した。「取引の問合せ」は前四半期の▲44 から今四半期▲55 と悪化している。



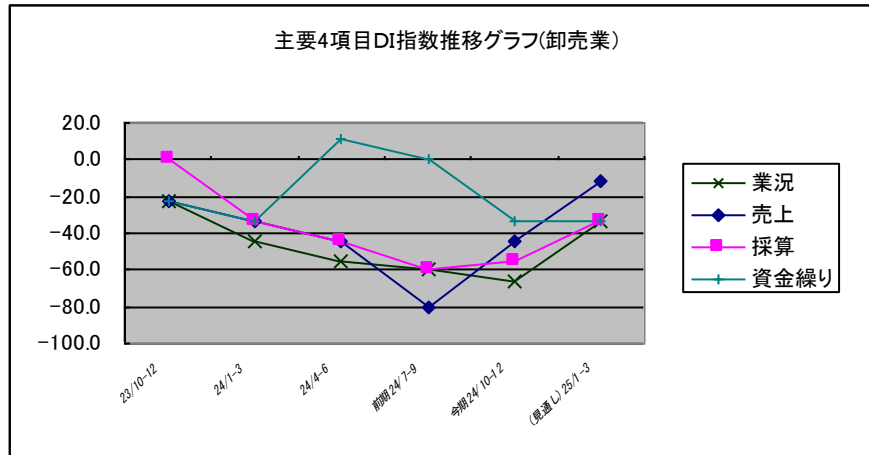
製造業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期▲10 から今四半期は▲13 とやや悪化した。「売上」は前四半期の前年並み(±0)から今四半期は▲13 とやや悪化し、「従業員」は前四半期の適正人員から今四半期は▲13 とやや人員過剰になった。一方、「採算」は前四半期の前年並みから今四半期は+13 と改善し「採算水準」が前四半期の収支トントンから今四半期は+63 と大幅に黒字化している。



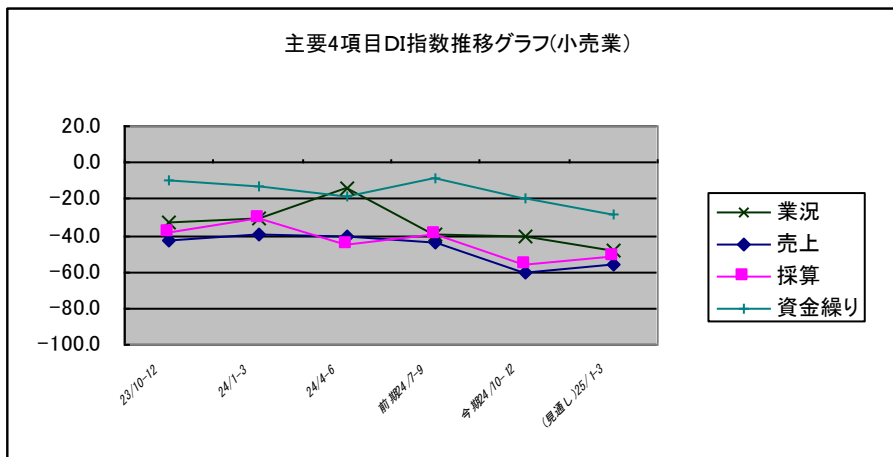
卸売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲60 から今四半期は▲67 にさらに悪化し、▲50 以下が 3 期も続いている。「売上」は前四半期の▲80 から今四半期▲44 と改善したものの低水準であり、「採算」が前四半期の▲60 から今四半期は▲56 に悪化幅が縮小した。「資金繰り」も前四半期の±0(不変)から今四半期は▲33 と悪化した。



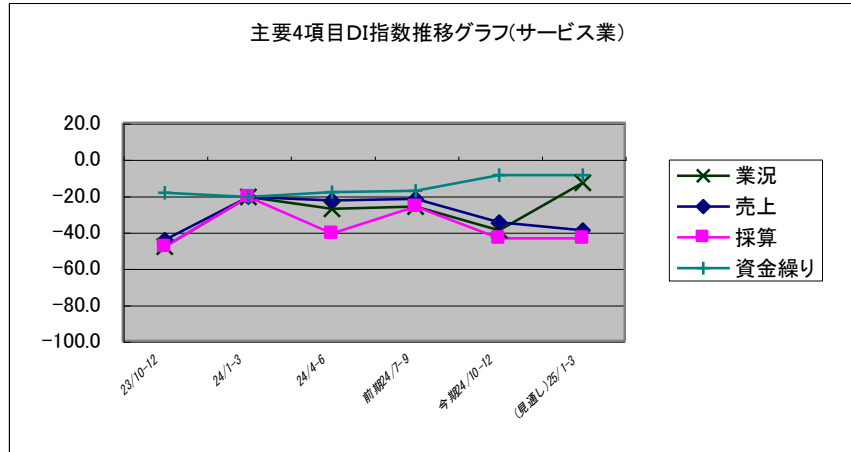
小売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲39 から今四半期は▲40 とほぼ横ばいである。しかし個別指標をみると「売上」は前四半期の▲44 から今四半期▲60 に悪化し、「採算水準」が前四半期の▲22 から今四半期▲28 に悪化し、「取引の問い合わせ」も「資金繰り」も含め全般に悪化傾向を示している。ただし「従業員」は前四半期の適正人員から今四半期+8(人員不足)になった。



サービス業

DI指数をみると、「業況」は前四半期の▲26から今四半期は▲39と悪化した。「売上」は前四半期の▲22から今四半期▲35と悪化し、「採算」も前四半期の▲26から今四半期▲44に悪化した。一方「従業員」は前四半期の適正人員から今四半期+4(人員不足)になった。



3ヵ月後のD Iの見通しについては、業種によりまだら模様になっている。

全体の「業況」は、今四半期の▲40から▲32に改善する見通し。ただし、個別指標でみると「売上」が1ポイント悪化して▲46、「採算水準」が5ポイント悪化して▲13、「取引の問い合わせ」も15ポイント悪化して▲53となっている。

「業況」見通しを業種別にみると、今四半期に悪化した卸売業が34ポイント改善して▲33、サービス業が26ポイント改善して▲13を見込んでいるが、建設業は10ポイント悪化して▲46、小売業は8ポイント悪化して▲48を見込んでいる。製造業が横ばいで▲13の見込みである。

ただし、今回の調査時点からして、円高がやや修正している足元の状況等は反映していないとみられる。

3ヵ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は前四半期から1ポイント減少して今四半期は20%となった。製造業が8ポイント増加して38%、卸売業で13ポイント増加して33%になった一方で、サービス業が9ポイント減少して13%になるなど建設業、小売業でも減少した。投資企業の投資内容の割合は更新投資が41%で最も多い。投資方針は、「今後の景気に拘らず計画通り」とする企業が60%になった。これは更新投資の比率が高いためとみられる。

(MBA・中小企業診断士 田中清行)

(今の経済情勢に対する意見)

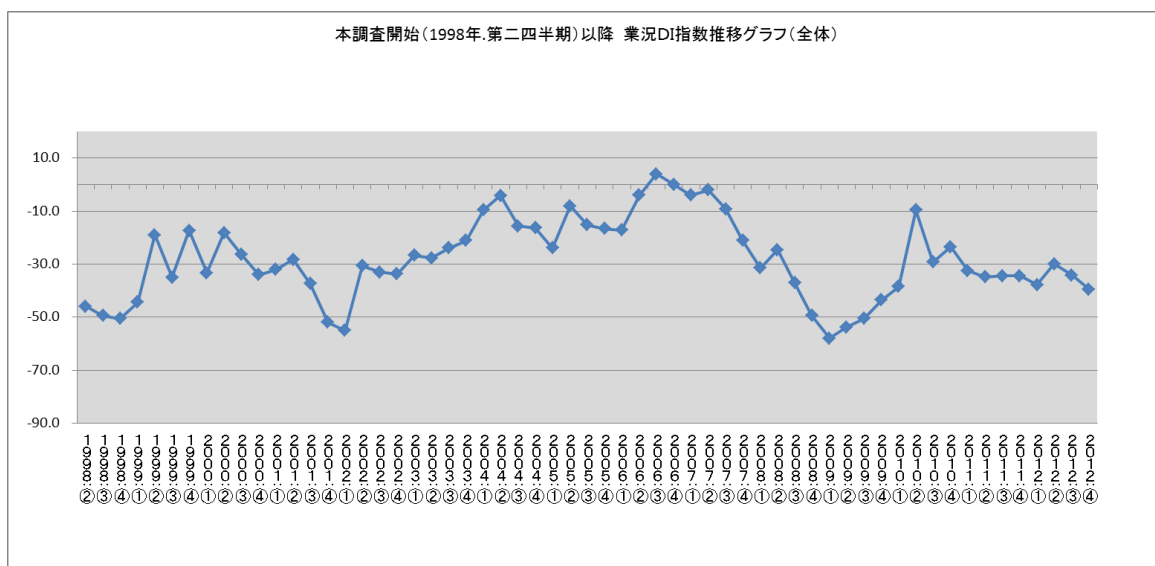
今の経済情勢に対する意見を寄せた企業は4社であった。

- 内需拡大の政策を願いたい
- 市場が小さくなっている。加えて参入しやすい業種なので競合が増えている。更に販売チャンネルが多様化している状況で、的を絞った販売、商品開発が難しい。それでも迷わず一点突発のような発想で行く。なんて事を考えています。
- ①自動車のエコカー補助金打切りによる新車販売の激減
②それに伴う中古車も低下
- 政治の不安定が経済の悪化へと、どんどんつき進んでいくような状況は今すぐ解散、景気浮揚等、はっきりした政策を決定してほしい。

DI 指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し
全 体	▲ 39.5	▲ 31.6	▲ 44.7	▲ 46.1	▲ 47.4	▲ 47.4
建 設 業	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 72.7	▲ 81.8
製 造 業	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 37.5	12.5	▲ 12.5
卸 売 業	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 11.1	▲ 55.6	▲ 33.3
小 売 業	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 60.0	▲ 56.0	▲ 56.0	▲ 52.0
サービス業	▲ 39.1	▲ 13.0	▲ 34.8	▲ 39.1	▲ 43.5	▲ 43.5
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	
	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し	10-12月期 動 向	1-3 月期 見通し
全 体	▲ 7.9	▲ 13.2	▲ 38.2	▲ 52.6	3.9	2.6
建 設 業	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 54.5	▲ 54.5	9.1	9.1
製 造 業	62.5	37.5	0.0	▲ 50.0	▲ 12.5	▲ 12.5
卸 売 業	▲ 22.2	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 66.7	0.0	▲ 33.3
小 売 業	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 44.0	▲ 56.0	8.0	12.0
サービス業	0.0	▲ 4.3	▲ 39.1	▲ 43.5	4.3	8.7
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	10-12月期 動向	1-3月期 見通し	10-12月期 動向	1-3月期 見通し	10-12月期 動向	1-3月期 見通し
全体	▲ 14.5	▲ 22.4	▲ 9.2	▲ 9.2	▲ 5.3	▲ 7.9
建設業	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 9.1	0.0	▲ 9.1
製造業	0.0	▲ 12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	0.0	11.1	0.0
小売業	▲ 20.0	▲ 28.0	0.0	▲ 8.0	4.0	▲ 4.0
サービス業	▲ 8.7	▲ 8.7	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 26.1	▲ 17.4
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	



縦目盛り軸は、全業種の業況DI指数を表しています。横目盛り軸は、調査年を西暦で、調査時期を①から④で表しています。

調査時期の詳細は以下のとおりです。

- ①…第一四半期 (1月～3月)
- ②…第二四半期 (4月～6月)
- ③…第三四半期 (7月～9月)
- ④…第四四半期 (10月～12月)

大津商工会議所

〒520-0806 大津市打出浜2番1号

コラボしが21・9F

TEL 077-511-1501

FAX 077-526-0795

URL <http://www.otsucci.or.jp/>